

山頂から雄大な富士山を望む山梨百名山 帯那山

実施日 2014年9月23日(火・祝)
 天候 曇り時々晴れ
 リーダー 白石 恵美子
 参加者 佐藤金治、一柳昭、白石恵美子、
 小村井好枝、石原勝正、瀧澤きよの、白石佐恵 計7名
 費用 JR 2,634円(高尾起算)
 計4,724円
 自動車 2,090円
 タイム 山梨市駅(9:15) 帯那山登山口
 (9:35~9:40) 筒タイム(10:10~10:15)
 帯那山山頂(10:50~11:05) 奥帯那山
 (11:15~11:20) 帯那山山頂(11:30~12:15) 脚気石神社(14:35)
 甲府駅(15:20)
 標高差 約380m / 行動時間 4h55min

「帯那山登山口」という道標がある所から登り始める。最初は土と松葉などが積もった幅の広い壊れかけた石畳の道を登って行く。左側に車道への道を見送り、道なりに進む。左側の沢に堰堤があり、その先で道は沢から離れる。その後、2回舗装道路を横切り、緩い登りが続く。



山頂の近くまでは広く歩きやすい道で、「今日の山は一つ星だね」とか、このことを見つけては「食べられる?」とか「食べられない?」などと話しながらのんびり歩く。アヤメ群生地の看板(殆どの人はこの辺まで車できてしまうらしい)から間もなく帯那山の山頂に着く。山頂には山梨百名山の標柱が立っている。広い草原のようだ。しかし本当の山頂はそこから樹林帯の平坦な道を12-3分歩いた先の奥帯那山にあり、二等三角点埋められている。展望はなす。また、帯那山山頂に引き返す。「雄大な富士山を望む」という謳い文句だが、「富士山見えないね」と少しがっかりしていたら、横にながーい雲の塊の上に全体の2割くらいだけ頭を見せた雪のない富士山を発見!雪をてっぺんに抱いた大きな富士山ばかり想像していたため、上の方にほんの少し覗いている雪のない富士に気が付かなかったので大笑い。先入観というのは恐ろしい。残念ながらマツムシソウは咲いてなかったが、ススキが日の光を受けて輝いてお月見でもしたい気分だ。

い登りが続く。

山頂の近くまでは広く歩きやすい道で、「今日の山は一つ星だね」とか、このことを見つけては「食べられる?」とか「食べられない?」などと話しながらのんびり歩く。

アヤメ群生地の看板(殆どの人はこの辺まで車できてしまうらしい)から間もなく帯那山の山頂に着く。山頂には山梨百名山の標柱が立っている。広い草原のようだ。しかし本当の山頂はそこから樹林帯の平坦な道を12-3分歩いた先の奥帯那山にあり、二等三角点埋められている。展望はなす。また、帯那山山頂に引き返す。「雄大な富士山を望む」という謳い文句だが、「富士山見えないね」と少しがっかりしていたら、横にながーい雲の塊の上に全体の2割くらいだけ頭を見せた雪のない富士山を発見!雪をてっぺんに抱いた大きな富士山ばかり想像していたため、上の方にほんの少し覗いている雪のない富士に気が付かなかったので大笑い。先入観というのは恐ろしい。残念ながらマツムシソウは咲いてなかったが、ススキが日の光を受けて輝いてお月見でもしたい気分だ。

山頂に引き返す。「雄大な富士山を望む」という謳い文句だが、「富士山見えないね」と少しがっかりしていたら、横にながーい雲の塊の上に全体の2割くらいだけ頭を見せた雪のない富士山を発見!雪をてっぺんに抱いた大きな富士山ばかり想像していたため、上の方にほんの少し覗いている雪のない富士に気が付かなかったので大笑い。先入観というのは恐ろしい。残念ながらマツムシソウは咲いてなかったが、ススキが日の光を受けて輝いてお月見でもしたい気分だ。



名前のわからない可憐な花々やワレモコウ、アキノキリンソウなども咲いていた。昼食を済ませ、「積翠寺・脚気石神社」と書かれた標識に従って下山を始める。休牧中の牧場の柵を右に見ながら進み、見越山は巻き、車道が2分したところを右の道を行く。(左の車道に入ると50m先に積翠寺ハイキングコースの入口があると地図の小冊子には書いてあるがその入口は見つからなかった) 牧場の柵からなるべく離れずに、荒れた急な道をなんとか下って行くと登山道らしき道に出て、ほっとする。

更に下って遂に車道にぶつかった。車道を右の方に下って行くと間もなく左側に登山道らしき道があったが、今日の参加者を考え安全策を採り、そのまま車道を下り脚気石神社にぶつかる。

地図で確認すると予定の道と平行した帯那山林道を来てしまったようだ。そこから積翠寺までは1時間以上歩かなくてはいけないので、タクシーを呼び、無事甲府駅に戻る。

今回は、マイナーな山は難しいということ、自分の未熟さを痛感し、下調べ不足を反省させられた山行でした。

しかしながら、参加して下さった皆様のご協力により7体の石仏にもならず全員無事下山できたことを感謝します。

これに懲りずにまた一緒に登っていただけなら嬉しいです。

(記・白石 恵美子)

(写真提供・石原 勝正)

分したところを右の道を行く。(左の車道に入ると50m先に積翠寺ハイキングコースの入口があると地図の小冊子には書いてあるがその入口は見つからなかった)

牧場の柵からなるべく離れずに、荒れた急な道をなんとか下って行くと登山道らしき道に出て、ほっとする。

更に下って遂に車道にぶつかった。車道を右の方に下って行くと間もなく左側に登山道らしき道があったが、今日の参加者を考え安全策を採り、そのまま車道を下り脚気石神社にぶつかる。

地図で確認すると予定の道と平行した帯那山林道を来てしまったようだ。そこから積翠寺までは1時間以上歩かなくてはいけないので、タクシーを呼び、無事甲府駅に戻る。

今回は、マイナーな山は難しいということ、自分の未熟さを痛感し、下調べ不足を反省させられた山行でした。

しかしながら、参加して下さった皆様のご協力により7体の石仏にもならず全員無事下山できたことを感謝します。

これに懲りずにまた一緒に登っていただけなら嬉しいです。

(記・白石 恵美子)

(写真提供・石原 勝正)

分したところを右の道を行く。(左の車道に入ると50m先に積翠寺ハイキングコースの入口があると地図の小冊子には書いてあるがその入口は見つからなかった)

牧場の柵からなるべく離れずに、荒れた急な道をなんとか下って行くと登山道らしき道に出て、ほっとする。

更に下って遂に車道にぶつかった。車道を右の方に下って行くと間もなく左側に登山道らしき道があったが、今日の参加者を考え安全策を採り、そのまま車道を下り脚気石神社にぶつかる。

地図で確認すると予定の道と平行した帯那山林道を来てしまったようだ。そこから積翠寺までは1時間以上歩かなくてはいけないので、タクシーを呼び、無事甲府駅に戻る。

今回は、マイナーな山は難しいということ、自分の未熟さを痛感し、下調べ不足を反省させられた山行でした。

しかしながら、参加して下さった皆様のご協力により7体の石仏にもならず全員無事下山できたことを感謝します。

これに懲りずにまた一緒に登っていただけなら嬉しいです。